

## ■ ヤングケアラー実態調査に係る有識者会議からの主なご意見と対応（案）①

委員名	所属	ご意見	対応（事務局案）
<b>■ 調査全体について（主に生徒用調査票について）</b>			
1	松本委員 【副座長】	学識	<p>【構成について】(問12～22) (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初案では、最初に自身が(ヤングケアラーに)該当するか質問していく構造であり、分担等している場合に排除される可能性があるほか、その他回答する子どもの主観で判断させるような設問(定義など)が散見。</li> <li>・家族がどのような社会資源に繋がっているかを把握する観点がない。ケアを必要としている人に十分なケアを提供し、子どもを巻き込まないことが必要であれば、この点は重要。</li> <li>・また、その一方で、振り分けるまでの設問が多すぎる。</li> </ul> <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアを必要としている人が家族に含まれるか→ケアを誰がしていて、そこに子どもが含まれるか(ここでヤングケアラーを同定)→その家族がどのような社会資源と繋がっているか、子どもとの関係を把握→ヤングケアラーのケアの中身や程度、困りごと、周囲の認知や相談相手を聞く(特に、支援機関調査のとの連動が重要。これは厚労の調査にはない。また、そうした状況を知っておいてほしい人(学校の先生など)が、(子どもから見て)認識しているかについても重要である。)(→必要な支援→認知度)</li> </ul> <p>※全体からケアニーズを持つ家族を同定して、その中でヤングケアラーの存在をみる構造。厚労の調査では、全体からすぐにヤングケアラーの同定をするので、家族への支援が抜ける</p>
2	澤田委員	礼医大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤングケアラーのイメージとして示されたもののほか、「精神的に不安定な親のケアを行っている」も含めてはどうか。看病や身の回りの世話とはニュアンスが異なると考えます。また、ケアラーのイメージにある「障害や病気の家族の世話や介護のことをいつも気にかけている」はヤングケアラーにも含まれてもよいのではないかと。</li> </ul>
3	澤田委員	礼医大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤングケアラーの対象年齢：中高生となっていますが、小学校高学年は対象にできないかと。</li> </ul>
4	小倉委員	労組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒向けの調査について、小学校高学年に対して調査する必要があると感じる。</li> </ul>
5	小倉委員	労組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WEB調査ということだが、タブレット、Wi-Fi環境など、どう対応するのか(校内で回答させるのか、自宅でのWi-Fi環境の有無など)</li> </ul>
			<p>○ご意見を踏まえ下記のとおり設問の構成を修正いたしました。 (当初案:問12～22については、修正案:問5～15に対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定義「子ども自身の権利が守られていない」などの記載を削除</li> <li>・問5 ケアを必要としている人が家族に含まれるか</li> <li>・問6 ケアが必要な方の状態、ケアを行う方(生徒自身が含まれる場合ヤングケアラーに該当)、社会資源との繋がり、ケアの程度</li> <li>・問7(1)、(2)、問8 ケアを行うことによる影響</li> <li>・問9～11 相談相手、相談していない場合の理由等</li> <li>・問12 お世話をしていることの周囲の認知【新設】</li> </ul> <p>(以降)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問13 必要な支援</li> <li>・問14 悩み事など(以降、全生徒対象)</li> <li>・問15 概念の認知度</li> </ul> <p>○設問数についても、削減いたしました。</p>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を踏まえ、調査票に選択肢を追加いたしました。(修正案:【学校用調査票】問15(1)、【SSW調査票】問4(1))</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援策をよりスピーディに検討するため、調査対象や内容は国の調査と比較できるようにほぼ同様としたいと考えますが、国の動き(小学生等を対象とした調査を実施予定との報道)についても注視してまいります。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援策をよりスピーディに検討するため、調査対象や内容は国の調査と比較できるようにほぼ同様としたいと考えますが、国の動き(小学生等を対象とした調査を実施予定との報道)についても注視してまいります。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webでの回答方法について、校内又は自宅で行うかは、学校判断となりますが、生徒の様々な事情等については、各学校において配慮いただくよう要請してまいります。</li> </ul>

委員名	所属	ご意見	対応（事務局案）	
<b>■ 生徒用調査票について</b>				
6	松本委員 【副座長】	学識	<p>(導入文)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査票の書き出しから、「ヤングケアラー支援に係る実態調査票」とタイトルがついているが、ヤングケアラーと認識していない生徒にとって、自身のことととらえられず、回答が得られない可能性はないか。</li> <li>・なお、導入文をあわせて修正する必要がある。特に家族のお世話について伺いたい旨を記載。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を踏まえ、ヤングケアラーの説明を後半部(Ⅲ以降)に移動しました。</li> <li>・あわせて、導入文(調査依頼文)も修正いたしました。</li> </ul>
7	松本委員 【副座長】	学識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(問5)一緒に住んでいる家族について、単身赴任の父母等の扱いは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を踏まえ、設問に単身赴任している父母等の有無を聞く設問を追加いたしました。(修正案:問4(3))</li> </ul>
8	松本委員 【副座長】	学識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(問6~11)これらの質問は、ヤングケアラーと同定する前の質問であり、効率化の観点から、削除の上、同定後の質問と統合してはどうか。</li> <li>・なお、問10については、ヤングケアラーとそれ以外の生徒で悩みに違いがあるかどうかなどを比較してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ご意見を踏まえ、以下のとおり整理いたしました。(当初案:問6~10まで削除)</li> <li>・問6 健康状態 → 修正案:問8</li> <li>・(Ⅱ)問7 通学状況等、問8 部活動の状況等、問9 学校生活等への影響 → 修正案:問7</li> <li>・問10 悩みごとなど → 修正案:問14</li> <li>・問11 相談相手 → 修正案:問9等</li> </ul>
9	松本委員 【副座長】	学識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(問13②a) 幼い→おさない、など平易な記載や具体的な例示などの配慮を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を踏まえ、修正いたしました。(修正案:問6(2)-aほか)</li> </ul>
10	松本委員 【副座長】	学識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(問13)その家族がどのような社会資源と繋がっているかの記載や子どもとの関係を把握することが必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を踏まえ、設問を追加いたしました。(修正案:問5(2)-d、f:医療や福祉サービスの利用、e、g:(ケアをしている子どもが)これらのサービス事業者と繋がりがあるか)</li> </ul>
11	松本委員 【副座長】	学識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(問14)頻度を聞くことが必要ではないか。また、選択肢の7における「進路」の関係については、高校生のみに関く方が適切ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を踏まえ、設問に頻度の確認欄を追加いたしました。(修正案:問7)</li> <li>・また、進路の関係につきましても、修正案:問7(2)を新設し、高校生のみに関く設問を設定いたしました。</li> </ul>
12	松本委員 【副座長】	学識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤングケアラーのケアの状況を知ってほしい人(学校の先生など)が、(子どもから見て)認識しているかについても確認することが必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を踏まえ、(子どもからみた)周囲の認知について、設問を追加いたしました。(修正案:問12)</li> </ul>
13	松本委員 【副座長】	学識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(問22)自身が「ヤングケアラー」にあてはまるかどうか聞く必要は無いのではないか。あまり意味をなさない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を踏まえ、設問を削除いたしました。</li> </ul>

委員名	所属	ご意見	対応（事務局案）
14 松本委員 【副座長】	学識	・最後に、お世話をしていることで困っていることを自由に記載してもらい、実際の相談先も記載してはどうか。	・ご意見を踏まえ、修正するとともに、相談先の案内を追加いたしました。（自由記載欄等）
15 中村委員 【座長】	ケアラー 連盟	・I—問5については、ケアラー調査と同様に同居人数の確認も必要と考えます。その上で、家族構成について聞いたらよいと思います。 ●(1)現在一緒に住んでいる家族は、あなたを含めて何人ですか。 [ ]人 ●(2)現在一緒に住んでいる… 1. 母親 …	・ご意見を踏まえ、設問を追加いたしました。（修正案：問4(1)）
16 中村委員 【座長】	ケアラー 連盟	・I—問6の健康状態は大変重要と思います。もう少し丁寧に聞いた方がよいと思います。 ●問6 あなたの健康状態について教えてください。 (1)あなたは身体に不調を感じていますか □はい □わからない □いいえ (2)あなたは心の不調を感じていますか □はい □わからない □いいえ ●問7【不調があるとお答えいただいた方のみ記載してください】 (1)あなたは身体の不調を誰かに相談したり、話したりしましたか。相談したり話した方は誰に話しましたか。 □はい(具体的に: ) □いいえ (2)あなたはこころの不調を誰かに相談したり、話したりしましたか。相談したり話した方は誰に話しましたか。 □はい(具体的に: ) □いいえ	・当初案：問6については、修正案：問8に統合し、お世話をすることによる身体的・精神的なつらさ等を確認するとともに、その悩み等の相談の有無(問9)、「有る」場合の相談対応者(問10)や「無い」場合の理由(問11)など丁寧に聴取いたします。
17 澤田委員	札医大	・質問内容：問9の選択肢に「学校のことをどうでもいいと思うことがある」を追加 ・回答内容：10ある選択肢に追加する ・設定理由：1-9はなんとかやり遂げている場合もあり、気持ちの辛さも把握したいため	・ご意見を踏まえ、修正案：問7に追加いたしました。（当初案：問9については、修正案：問7に統合）
18 澤田委員	札医大	・質問内容：問10に「自分に自信を持ってないこと」を追加 ・回答内容：1-13の選択肢に追加する ・設定理由：選択肢に自分自身についてのことがないため。精神疾患の親をもつ子どもの場合「普通と違う」「普通が分からない」ことを困ったこととして話されます。	・ご意見を踏まえ、修正案：問14に追加いたしました。（当初案：問10については、修正案：問14に統合）
19 澤田委員	札医大	・質問内容：問14に「普通の暮らしや一般常識を知りたい」を追加 ・回答内容：1-10の選択肢に追加する ・設定理由：精神疾患の親をもつ子どもの場合、「すべての親は死にたいと思うのだと思っていた」「小学校でもちょうちょう結びの仕方が分からなかった」と話され、何が普通なのか知る機会がなかったと話されます。	・精神疾患を持つ子の状況を把握するために重要なことと考えますが、調査対象となる生徒にとって、調査時点においてはそうした希望(何が普通なのか知る機会)があること自体気づいていない可能性があるものと考えております。（修正案：問7関連）
20 西村委員	家族会	・問1の3. 対象が中学2年、高校2年としているのなら、3. のあてはまるものは入らない。 ・問9の下にその他を入れる。 ・問10の1に話を聞いてくれる人は誰で( )を入れる。	・ご指摘を踏まえ、修正いたしました(修正案：問1)。また、当初案：問9、問10は削除しておりますが、ご指摘の趣旨を踏まえた設問となっております。（修正案：問7、問10）

委員名	所属	ご意見	対応（事務局案）
21	小倉委員 労組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全般的な表現(漢字や言葉遣い)など、道教委との連携はできないのか？言葉遣いを平易にした方が、回答しやすい。 中2で読める漢字でも、できるだけ平易な表記に留意すべき</li> </ul> <p>例 お伺いします ⇒ お聞きます</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご意見を踏まえ、可能な限り平易な表記といたします。</li> </ul>
22	小倉委員 労組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問3 振興局 中高生ではなじみがなく、答えられないケースもあると思う 在住の市町村でいいのではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご意見を踏まえ、住んでいる地域を問う設問としております。(修正案:問3)</li> </ul>
23	小倉委員 労組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問5 寮や下宿などの寄宿生は除くのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寮生や下宿生も除かず、「その他」の欄に記載いただくことを想定しております。(修正案:問4)</li> </ul>
24	小倉委員 労組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問6 健康状態の聞き方が抽象的で答えられない。健康があまりよくないのはどんなことを指すのか子どもたちが答えやすい選択肢に変更が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当初案:問6については、修正案:問8に統合し、お世話をすることによる身体的・精神的なつらさ等を確認することとしております。</li> </ul>
25	小倉委員 労組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問9 「多い」とはどれくらいの頻度をさすのか？週に何回？などの具体的な例示があった方が答えやすい 10 特にない ⇒ 当てはまることはほとんどない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当初案:問9については、修正案:問7に統合し、頻度についても、あわせて伺うこととしております。選択肢については、ご指摘を踏まえ修正しております。</li> </ul>
26	小倉委員 労組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問10 6. 塾(通信含む) ⇒ 塾(通信教育や、オンライン授業を含む) 8. 9. 10の選択肢が似通っていて、わかりにくい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご指摘を踏まえ、選択肢6について修正しております(修正案:問14)。なお、8～10の選択肢については、国調査との比較の関係上、そのままさせていただきたいと考えております。(選択肢8:自分と家族、9:家族内(夫婦仲等)、10:家族自身のこと)</li> </ul>
27	小倉委員 労組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問12 お世話をしている ⇒ めんどろをみてあげている 本来大人が担う…の説明が必要か？ヤングケアラーの場合、何が本来大人が担うことか。自覚もないので答えられない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご意見を踏まえ、修正しております。(修正案:問5)</li> <li>・ ヤングケアラーの定義についても、一部修正しております。</li> </ul>

委員名	所属	ご意見	対応（事務局案）
28	小倉委員 労組	<p>・問13</p> <p>a 幼いきょうだいをケアしている場合、親の育児放棄が原因であれば選択肢はどれか。 親が虚弱、病み上がり、けがをしていて歩けないなどの場合は？ 7. 精神疾患（疑い含む）⇒ 中学生にはわかりにくい うつやメンタル不調、きょうだいなら発達障害なども想定される</p> <p>9. 7. 8以外の病気 ⇒ けがや病気</p> <p>b 5 通院の付き添い ⇒ 病院への付き添い 6 感情面のサポート 愚痴 ⇒ ぐち ③ 一括で ⇒ まとめてお答えください 6 親戚の人 しんせきの人 ④お世話を始めた年齢 ⇒ 誰の年齢？ あなたがお世話を始めたのは何才くらいの時からですか？ ⑤ 頻度 ⇒ ひんど(回数やひにち) 平日(学校がある日)と休日は違うはず 週末や夏休み・冬休みなどの長期休みは違うのでは？ ⑥平日⇒ 平日(月～金など学校がある日)</p>	<p>※当初案:問13については、修正案:問6に変更しております。</p> <p>・選択肢の表記等については、ご意見を踏まえ、修正しております。</p> <p>・休日における頻度についても、設問を追加しております。</p> <p>・また、aの欄につきましては、本来お世話をすることが想定される方の状態を問わず、お世話を必要とする方の状況について、記載をしていただくこととしております。</p> <p>特別な事情等がある場合については、その他の欄に記載いただくことを想定しております。</p>
29	小倉委員 労組	<p>・問14 各設問について、どの程度当てはまれば○をつけるのかわからない 過去に1度でもあったら丸をつけるのか？ 他の選択肢同様に、週に何度かある とか、月に何度かある ように示す必要がある</p> <p>1. 学校に行きたくても行けない⇒ 学校に行きたくても行けない日が月に2日以上ある 5. 友人と・・・ ⇒ 友人と遊ぶ時間がない、少ない 6. ...辞めざるを得なかった ⇒ 辞めることになった 7. ...考えざるを得ない ⇒ 考えるしかなかった 8. 自分の時間が取れない ⇒ 自分の自由になる時間が取れない</p>	<p>※当初案:問14については、修正案:問7に統合しております。</p> <p>・各選択肢における頻度の記載や表記等については、ご意見を踏まえ、修正しております。</p>
30	小倉委員 労組	<p>・問15 きつさ は分かりにくい ⇒ きつさ(つらさや疲れ)を感じていますか きつい ⇒ つらい</p>	<p>・当初案:問15については、修正案:問8に統合の上、選択肢の表記については、ご意見を踏まえ、修正しております。</p>
31	小倉委員 労組	<p>・問18 2. 5. 6. 7はどれも家族のことは相談したくないことの詳細な理由になる 家族のことは相談したくない と答えさせて、その理由の選択肢でなぜなのかを聞けないか？</p>	<p>・選択肢については、国調査との比較や設問を可能な限り減らす方向性を踏まえ、そのままとさせていただきたいと考えております。(当初案:問18→修正案:問11)</p>
32	小倉委員 労組	<p>・問19 問18と問19の順番を入れ替えた方が答えやすい</p>	<p>・当初案:問19(話を聞いてくれる人の有無)は削除し、新たに修正案:問12において、(子どもの視点からみて)誰が知っているか(繋がっているか)の設問を新設いたしました。</p>

委員名	所属	ご意見	対応（事務局案）
33	小倉委員 労組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問20 学校や周りの大人に ⇒ 学校の先生や周りの大人に・・・</li> <li>3. ケアのことなど ⇒ お世話 に統一したほうがいいのか</li> <li>9. 経済的な支援 ⇒ 金銭面での支援（経済的 は中学生にはわかりにくい）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘を踏まえ、修正いたしました(修正案:問13)。</li> </ul>
34	小倉委員 労組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問21 ヤングケアラーの自覚のない子どももいる中でこの設問は必要か 聞くのであればもっと 配慮した聞き方が必要ではないか 子ども自身の権利が守られていない と断言していいのか？該当する子は傷つく。</li> <li>周りの大人の助けを必要とする など 何かもう少し配慮できないものか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤングケアラーの定義については、「子ども自身の権利が守られていない」の記載を削除するなど、一部修正しております。</li> </ul>
<b>■ 学校用調査票について</b>			
35	松本委員 【副座長】 学識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査時点がわかるよう明記すべき。</li> <li>・(問11、16関係)学校の調査において、SSWの関わりを確認してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査依頼において、調査時点を明記いたします。</li> <li>・ご意見を踏まえ、SSWの選択肢を追加いたしました。(修正案:問10、15)</li> </ul>
36	澤田委員 礼医大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問16</li> <li>・質問内容:ヤングケアラーと思われる状況について、「精神的に不安定な親のケアをしている」「障害や病気の家族の世話や介護のことをいつも気にかけている」を追加</li> <li>・回答内容:11ある選択肢に追加する</li> <li>・設定理由:診断されていなくても自殺企図や自傷を子どもの目の前で行い、それを止める役割や機嫌を取る、なだめる役割を担っている場合があり、世話や看病とはニュアンスが異なるため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を踏まえ、選択肢を追加しております。(修正案:問15)</li> </ul>
37	今西委員 SSW	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が回答する質問紙とSSWが回答する質問紙があるが、学校の問1に書かれているスクールソーシャルワーカーはどのような方を想定しているのか、重複することになるのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘を踏まえ、修正案:問1のSSWの選択肢を削除しております。</li> </ul>
38	小倉委員 労組	<ul style="list-style-type: none"> <li>全般的に、いつからのことを答えるのか？ 昨年度？ 開校以来？ 回答者が赴任してから？</li> <li>問5 合算の人数でいいのか？</li> <li>問7 12. 校納金 ⇒ 諸納金 ？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回答については、原則、調査票記入時点での記載をお願いすることとし、その旨、調査の依頼の中に明記いたします。</li> <li>・当初案:問5、7の表記については、ご指摘を踏まえ、修正いたしました。</li> </ul>

委員名	所属	ご意見	対応（事務局案）
39 小倉委員	労組	<p>問9(2) …また、会議の頻度 ⇒ 開催頻度 開催頻度の選択肢 不定期開催、都度開催(問題が起きたとき)などは想定されないか？</p> <p>問11 アンケート用紙の書式に関わるのかもしれないが、誰が聞かれているのかわかりにくい。みなさんにお聞きします などの追記が必要 関係機関の選択肢がない (問12と共通で使うのであれば、その旨明記すべき)</p> <p>問14 家庭訪問などは中高ではないのか？アセスメントシート等に含まれるのか</p> <p>問16 認知症家族の見守りやケアは 4に含まれるのか 認知症の単語は必要では？ (2) (3) ここで聞かれるケースは 何年前までさかのぼって回答するのか？ どちらかしか該当がなければ、片方は白紙で構わない</p> <p>(5) (6) 工夫は回答者個人のことか、学校の方針か？ (7) 問7の選択肢 ヤングケアラーは、遅刻・早退・欠席などの問題行動はないが、実は相当なケアを担っていることが指摘されている。選択肢に、居眠りが多いとか、生徒の顔色が悪い、疲れているなどの、健康面での項目を入れられないか？</p>	<p>※問番号はいずれも当初案</p> <p>・問9 ご指摘を踏まえ、修正いたしました。(修正案:問8(2))</p> <p>・問11 学校用の調査票であり、各学校における回答者も1名であることから、そのままとさせていただきたいと考えております。(修正案:問10)(関係機関の選択肢は単純な誤りであり修正しております。本番資料からは削除させていただきます。)</p> <p>・問14 中高においては、原則家庭訪問を行っておりません。(修正案:問13)</p> <p>・問16 見守り等が必要な場合については、精神疾患を持つ親やきょうだいが幼い場合など、認知症に限らず、様々な場面で想定されることから、そのままとさせていただきたいと考えております。</p> <p>(2) 調査票記入時点における状況の記載を依頼いたします。</p> <p>(5) 学校の方針となります。</p> <p>(7) ご意見を踏まえ、修正いたしました。(修正案:問6)</p>
<b>■ S S W (スクールソーシャルワーカー) 用調査票について</b>			
40 松本委員 【副座長】	学識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査時点がわかるよう明記すべき。</li> <li>・調査母数が少ないため、本調査の取り扱いを検討すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査依頼において、調査時点を明記いたします。</li> <li>・ご意見を踏まえ、インタビュー調査などの際の参考資料とするなど取り扱いを検討してまいります。</li> </ul>
41 澤田委員	札医大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問内容: ヤングケアラーと思われる状況について、「精神的に不安定な親のケアをしている」「障害や病気の家族の世話や介護のことをいつも気にかけている」を追加</li> <li>・回答内容: 11ある選択肢に追加する</li> <li>・設定理由: 診断されていなくても自殺企図や自傷を子どもの目の前で行い、それを止める役割や機嫌を取る、なだめる役割を担っている場合があり、世話や看病とはニュアンスが異なるため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見を踏まえ、選択肢を追加しております。(修正案:問4)</li> </ul>

## ■ ヤングケアラー実態調査に係る有識者からの主なご意見と対応（案）②

委員名	所属	ご意見	対応（事務局案）	
<b>■生徒用調査票について</b>				
1	松本委員 【副座長】	学識	<p>・問4(2)について、「単身赴任している父母等を除く」として、次に「(3)あなたの家族に単身赴任をしているひとはいますか。1いる 2いない」を追加する。単身赴任をしていることで、子どもにケア負担がかかる可能性あり。(3)で「ひとり親世帯」かどうかは弁別できる。</p>	<p>・御指摘を踏まえ、(1)と(2)は(単身赴任している父母等を除く)と記載を変更し、(3)現在、あなたの家族に単身赴任している父母等はいますか。(あてはまる番号1つに○) 1. いる 2. いない の設問を追加しました。</p>
2	松本委員 【副座長】	学識	<p>・問7について「自分の自由に過ごせる場所がない」という選択肢を入れる。</p>	<p>・御指摘を踏まえ、「8. 自分が自由に過ごせる場所がない」との選択肢を追加しました。</p>
3	松本委員 【副座長】	学識	<p>・問7の2の設問について「お世話をしていることで」から「お世話をしていることが影響して」としてはどうか。これだと直接的な原因に限定されて、判断が難しい。</p>	<p>・御指摘を踏まえ、設問を修正しました。</p>
4	松本委員 【副座長】	学識	<p>・問7の2について「進学、就職をあきらめ、お世話に集中(／専念)しようと考えている」という選択肢を入れる。</p>	<p>・御指摘を踏まえ、「2. 進学や就職をあきらめ、お世話に専念しようと考えている。」との選択肢を追加しました。</p>
5	松本委員 【副座長】	学識	<p>・問12の選択肢に、病院職員や福祉サービス職員についても選択肢に入れる。</p>	<p>・御指摘を踏まえ、問12の選択肢に「6. 医師や看護師、その他病院の人」「7. ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人」を追加しました。</p>
6	松本委員 【副座長】	学識	<p>・問13について、「自分の自由に過ごせる場所がほしい」という選択肢を入れる。→家のなかで「家事などのタスクをしていない時間」「ヘルパーさんが入っている時間」があっても、家族のケアを気にしてしまう。単にケアを外部化して空き時間をつくるだけでなく、物理的にケアから離れられる空間が必要。</p>	<p>・御指摘を踏まえ「8. 自分の自由に過ごせる場所がほしい」との選択肢を追加しました。</p>
7	松本委員 【副座長】	学識	<p>・問13について、「家族での相談や話し合いのときにそばにいてほしい(／参加してほしい)」という選択肢を入れてはどうか。→家族関係やケアの体制に介入できる第三者、家族内で子どもの「声」を支えてくれる人</p>	<p>・御指摘を踏まえ「4. 家族での相談するときや、話し合いのときにいっしょに参加してほしい。」との選択肢を追加しました。</p>



委員名	所属	ご意見	対応（事務局案）
<b>■生徒用調査票について</b>			
8	松本委員 【副座長】	学識	<p>・問14について、「自分の自由に過ごせる場所がないこと」という選択肢を入れる。</p> <p>・御指摘を踏まえ、「12.自分が自由に過ごせる場所がないこと」との選択肢を追加しました。</p>
9	澤田委員	札医大	<p>・問3の選択肢について、「ケアラー」用の調査票では、振興局区分だけではなく、政令市・中核市の別も聞いている。両調査票で整合性を図るべきではないか。</p> <p>・ケアラー用調査票については、結果的に「(総合)振興局」を聞くこととしたことから、学校用についても同一の標記といたしました。生徒用については、わかりやすく「地域」を選択することといたしました。</p>
10	澤田委員	札医大	<p>・問6の②のaの選択肢に「発達障がい」も加えるべきではないか。</p> <p>・御指摘を踏まえ、「発達障がい」を選択肢に加えました。</p>
11	澤田委員	札医大	<p>問7の2の選択肢に「この経験を活かした就職先と考えている」を追加してはどうか。</p> <p>・御指摘を踏まえ、問7の2の選択肢に「5. 進学先を、お世話の経験を活かし、医療や福祉関係へ変更しようと考えている。」 「6. 就職先を、お世話の経験を活かし、医療や福祉関係へ変更しようと考えている。」を追加しました。</p>
12	澤田委員	札医大	<p>問12の選択肢に、医療機関や福祉サービスの職員を追加してはどうか。</p> <p>・御指摘を踏まえ、問12の選択肢に「6. 医師や看護師、その他病院の人」 「7. ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人」を追加しました。</p>
13	中村委員 【座長】	ケアラー 連盟	<p>・問3の選択肢について、「ケアラー」用の調査票では、振興局区分だけではなく、政令市・中核市の別も聞いている。両調査票で整合性を図るべきではないか。</p> <p>・ケアラー用調査票については、結果的に「(総合)振興局」を聞くこととしたことから、学校用についても同一の標記といたしました。生徒用については、わかりやすく「地域」を選択することといたしました。</p>
14	小倉委員	労組	<p>・アンケート調査の1ページ目「この調査に関するお知らせ」について、「回答しなくてもあなたに不利益は全くありません」との表現は、子どもにはわかりにくい。また、回答率も低下すると思う。調査に協力願いたいとの文言を加えるべき。</p> <p>・御指摘を踏まえ、「回答しなくてもあなたに不利益は全くありません」を削除し、「◎答えにくい質問は、答えなくても構いません。無理のない範囲で協力してください。」と表現を修正しました。</p>
15	小倉委員	労組	<p>・問3で居住地域を聞いているが、「地域」が分からない中高生もいると思う。その場合、どのように対応するのか。</p> <p>・「15. 地域が分からない場合は町村名を書いてください(市町村名: )」の選択肢を加えました。</p>

委員名	所属	ご意見	対応（事務局案）	
16	小倉委員	労組	・調査票の全般的に、「～行っていますか。」という表現は、中高生にはわかりにくいのではないかとすべきではないか。	・御指摘を踏まえ、修正しました。（問6(2)-b、c、(5)、(6)）
17	小倉委員	労組	・問6の④で「ひんど」はひらがなにするとわかりにくい。漢字で記載し、ルビを振ってはどうか。	・御指摘を踏まえ、「日数」に修正いたしました。（問6の(4)）
18	西村委員	家族会	・問6の②のCの選択肢中、「10. 薬の管理」は、中高生にはわかりにくい。括弧書きで、「(薬を小分けにしたり、渡したりするなど)」を加えてはどうか。	・御指摘を踏まえ、問6(2)-Cの選択肢中、「10. 薬の管理」を「10. 薬の管理(薬を小分けにしたり、渡したりするなど)」と修正いたしました。
<b>■学校用調査票について</b>				
19	松本委員 【副座長】	学識	問15の(3)について、①・②とも、「どのような機関とつながっていたか」「学校が直接連携した機関はどこか」「学校から見た支援の難しさ」について設問を立てたらどうか。選択肢あるいは自由記述で。	・御指摘を踏まえ、問15(3)の新1, 2とも設問を追加いたしました。
20	松本委員 【副座長】	学識	問18の設問について「ヤングケアラー支援」？ これだとケアラー本人への意見になる	・御指摘を踏まえ、問18の設問について「ヤングケアラーに関して」から「ヤングケアラーへの支援に関して」へ修正いたしました。
21	澤田委員	札医大	・問15の選択肢に「発達障がい」も加えるべきではないか。	・御指摘を踏まえ、問15の(3)の新1, 2の「b. ケアを必要としている人の状況」に「発達障がい」を選択肢に加えました。
<b>■SSW用調査票について</b>				
22	松本委員 【副座長】	学識	・問4の(3)について、①・②とも、「どのような機関とつながっていたか」「SSWが直接連携した機関はどこか」「SSWから見た支援の難しさ」について設問を立てたらどうか。	・御指摘を踏まえ、問4の(3)-1, 2とも、設問を追加いたしました。
23	松本委員 【副座長】	学識	・問4の(3)の①・②について「支援した結果、子どもへの変化」は「子どもの」ではないか？	・御指摘を踏まえ、「支援した結果、子どもへの変化」へ修正いたしました。

委員名	所属	ご意見	対応（事務局案）
24 松本委員 【副座長】	学識	問6.の設問について「ヤングケアラー支援」？ これだとケアラー本人への意見になる	・御指摘を踏まえ、問6.の設問について「ヤングケアラーに関して」から「ヤングケアラーへの支援に関して」へ修正いたしました。
25 澤田委員	札医大	・問4.の選択肢に「発達障がい」も加えるべきではないか。	・御指摘を踏まえ、問4.の(3)-1, 2の「b. ケアを必要としている人の状況」にそれぞれ「発達障がい」を選択肢に加えました。